

Forum



3月末に法人全体フォーラムが行われ、平成28年4月からの組織体制や、各事業所の事業計画が発表されました。職員が一堂に会したこの場から、気持ちを引き締めて新年度に臨みます。



平成27年度安全管理委員会の取り組み報告

安全管理委員会では、サービスにおける最重要キーワードである「安全性」を高めることを目的に、法人内の苦情解決委員会、権利擁護・虐待防止会議、リスクマネジメント会議、防災会議を統括し、福祉事業にて想定される多岐に渡るリスクに備える取り組みをしています。こうした取り組みの先に、さらに質の高いサービスの提供が出来ればと考えています。

■主な検討事項

- ・H26年度各委員会、会議年間報告
- ・権利擁護の取り組みについて
- ・権利擁護マニュアルの見直し
- ・虐待防止チェックリストの見直し・改善
- ・虐待防止チェックリスト実施報告と対策検討
- ・近隣住民の方からの要望についての検討

■平成27年度苦情や要望の受付・解決への取り組み報告

下記内容にて、申し出を受け、解決に向け、取り組みや話し合いを行いました。

- 法人
 - ・サマーフェスタ開催時の騒音について改善して欲しい。(地域住民の方から)
 - ・サマーフェスタ開催に伴う出し物(ホーランエンヤ)の練習の騒音について練習場所を変更する等、改善して欲しい。(地域住民から)
- フレンド
 - ・クリーニング作業のボイラー音について(地域住民の方から)改善して欲しい。

今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気兼ねなく、お申し付け下さい。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

■千鳥福祉会苦情解決第三者委員

京 俊輔 氏(島根大学法文学部福祉社会教室 准教授) TEL0852-32-6239
 黒田 文 氏(島根大学法文学部福祉社会教室 准教授) TEL0852-32-6353
 島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913



ペットボトルのキャップ、空き缶のプルタブ回収!

今年度より社会貢献のため、ペットボトルのキャップ、空き缶のプルタブを集めています。サマーフェスタ当日は、チケット販売所側に回収ボックスを設置いたしますのでぜひご協力をよろしくお願い致します。

サマーフェスタ
2016ゲスト決定!

第15回 千鳥福祉会
サマーフェスタ

2016.7/17(日) (会場) 持田寮・L.C.C.ういんぐ
午後4時~午後8時30分 (前庭・体育館) 松江市東持田町1415

つなごう... 楽しい!! 聴かせます!!
安来のおじ

おがっち
テレビラジオでおなじみの方がゲスト!!
司会も「おがっち」が担当!!

Leaving Care News

2016.05.01 No.125



千鳥福祉会
サマーフェスタ2016は
7月17日(日)開催決定!
お楽しみに...



千鳥福祉会

〒690-0814 松江市東持田町1415
 社会福祉法人 千鳥福祉会
 TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825
 障がい者支援施設 持田寮
 多機能型事業所 ワークセンターフレンド
 多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
 共同生活援助事業所
 居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空
 相談支援事業所 ひまわり
 放課後等デイサービスばすてる
 URL <http://www.tidori.org/>
 E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



平成27年島根県障害者アート作品展「銀賞受賞/三代ますみさん作」

ごあいさつ

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

平素より、当法人の事業運営につきまして、格別の御支援を賜り心からお礼を申し上げます。お陰様で、また新しい年度を迎えることができました。ありがとうございます。

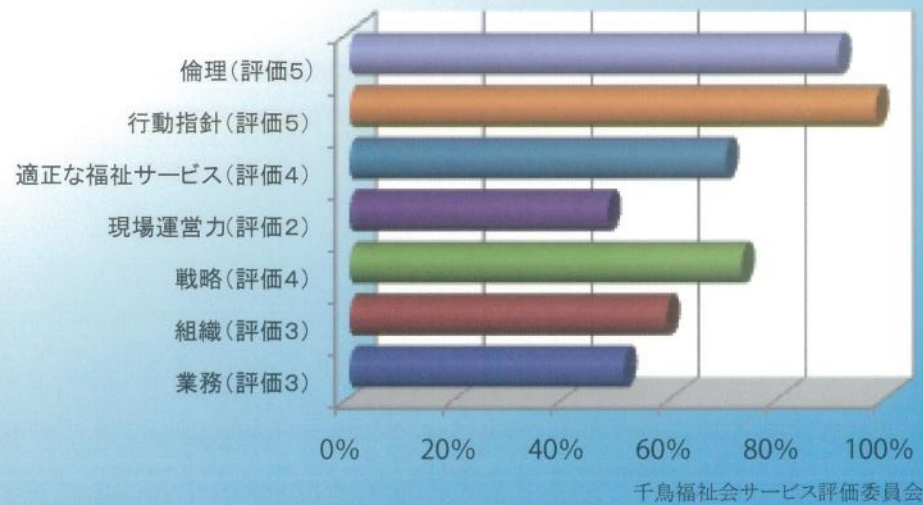
今、隣の会議室は扉を開けたままで「サマーフェスタ」の内部実行委員会開催中です...「祭りの目的の『つなごう』『楽しむ』『わかってもらう』『役に立つ』そのために...はいいいとは思いますが、大切なことはわかるけど、どうも心への響き方が足りないように思うんですが...「祭りそのものの目的とスタッフの関わり方として表現を分けて考えれば...」「『全力』は...」自室で密かに「オ〜」と感動しました。

今年は、法人認可を頂いてから25年、まさに「全力」でした。ここまで辿りつけたことに感慨深いものを感じ、また、感謝の気持ちでいっぱい。昔話はしたくないのですが、職業訓練校、企業、造園業者さんの植栽場や民家の草取り

等の施設外実習や逆に指導に入ってもらった20年前の取り組みが今では推奨されるようになった事など振り返ると、今さらながら福祉事業の難しさ、障がい者福祉の奥深さを実感します。

さて、次の25年はどうすればいいのでしょうか...世論も経済も技術もめまぐるしく変化し、情報が氾濫しています。人口減少、医療費・社会保障費の削減は社会福祉法人の在り方も問う流れを作っています。前が見えなくなった時は原点に戻る。私たちは、こんな時だからこそ本来の目的を見失わないようにしなければと思います。「困っている方の役に立つ」「生きにくさを抱えている方もいい人生だったと言ってもらえるような支援をし続ける」「皆で暮らしやすい世の中を創る」...力不足ではありますが、大変さを楽しさにかえる組織になり、1人でも多くの方と笑顔で繋がって全力で臨みたいと思います。今後ともどうかよろしくお願い致します。

平成27年度セルフアセスメント結果(9月全数調査)



日本財団福祉車両助成事業

日本財団より助成金をいただき、ケアセンター大空にヘルパー車を1台購入しました。

古い車両との代替で導入し、早速、日々のヘルパーの移動に活用させていただき、大いに助かっております。

楽しいか、幸せかどうかを感じるのは自分のところ。人の数だけ未来がある…



放課後等デイサービス事業所 管理者 山崎雅子
平成24年から開所しました、放課後等デイサービス事業所は
すてるもおかげさまで5年目を迎えました。
振り返りますと、楽しく笑っておられる児童さんの笑顔が次々と
浮かんできます。

様々な活動の参加を通してたくさんの発見や成長が感じられ、
職員も貴重な成長期と一緒に過ごせることに遣り甲斐を感じて
います。利用して頂いている児童さんが、ばすてるに行きたいと
思って頂けるサービスを今後も工夫し提供していきたいと考えて
おります。たくさんの児童さんのいきいきとした姿や笑顔が
見られるよう、職員一同努めていきますのでよろしくお願いいた
します。



相談支援事業所ひまわり
所長 竹内淳子

地域の中には、これまで福祉の支援
が入っていないケースもあり、初めて支
援に入る場合は誰がどう動いて良いか
分からない場面に直面する時もありま
す。中には、何度連絡を入れても断られ
るケースもありますが、きっとそのうち
に当事者や家族に会うことができ話を
聞くことができると信じて連絡を続けます。受け入れてもらう私
たちも大変ですが、外部の人に話をする・相談をする当事者の方
も警戒心一杯ではないでしょうか。心を開いて話ができるよう
になるまでは「不安、不信感」が大きいと思います。時間はかかりま
したが、最近では、電話やメールで相談が家族からも入ってくる
ようになり、「この信頼に応えたい」と同行や訪問をしています。

御家族にとっては、法人内の事業所を利用してくださいる方も同
様、帰宅後の笑顔や「今日こんなことがあって」と報告を聞き安
心されるし、反面、表情が暗いし「嫌なことがあったのかも」と心
配されることもあるのではないのでしょうか。信頼関係を築く過程
は山あり谷ありです。本質的に人見知り傾向の強い私がこの相
談支援の仕事に就いているのも不思議ですが、単純に「ありがとう
」と言ってもらえることが、私だけではなく相談支援事業所ひ
まわりのエネルギーになっているのは間違いのないと思います。



共同生活援助事業 世話人 奈良井理子

啓蝨も過ぎ、ようやく日の出が早くなってきました。早朝から
始まる世話人の仕事。暗い朝でも、ホームに到着すると毎日変
わらず、利用者さんの部屋の灯りが待っていてくれます。限られ
た時間の中での朝食作り。体調をチェックして、それぞれの職場
へ送り出す毎日は、子育てを終えた私にとって張り合いのある
日々です。

調理をすることになり、思う事は、「ただ食べると*もの、になっ
てしまうが、調理をする心で*いのち、となり、慈しみ、育まれる」
という「森のイスキア」の故・佐藤初女さんの言葉です。

私は調理師でもシスターでもありませんが、利用者さんが嫌
いで捨ててしまわれる*もの、としての食べ物が、もしかしたら変
わる事が出来るかもしれません。そして縁あって、集った私たちが
がいただきます。*ごちそうさま、の挨拶や*ありがとう、*ごめん
なさい、の思いやりの心を口にできるホームになれるよう、一日一
日を大切に。(できるだけ)笑顔で過ごす…そんな気持ちを忘れな
いで、新しい春を迎えたいと思う、世話人経験5カ月の私です。



ケアセンター大空 管理者 中濱早織

4月よりケアセンター大空の管理者を任せられました中濱早
織です。今までは、原管理者指導の下、3年間大空で主任として
勤めてまいりました。時代や法律は変わりつつありますが、障が
いのある方にとっては、まだまだ生活しづらく、過ごしくさも感
じられ、ニーズもたくさんあります。住み慣れた地域で安心して
心豊かに暮らせるためにも、地域福祉の担い手として役割を果
たしていきたいと思いますが、スタッフの人員不足や専門性等
の課題もたくさんあります。

利用者様の心からの声を感じ、受け止め、スタッフ一丸となっ
て更に大空を盛り上げ発展させていけたらなと考えています。
私自身も初心にかえり努力していきたいと思っておりますので、今後
ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



L.C.C.ういんぐ 主任 松尾裕子

L.C.C.ういんぐでは年間を通して皆様に参加して頂ける行事
を企画、実施しています。その中で昨年度は、メインイベントと
なるクリスマス会を、サンラポーむらぐもに会場を移し行いま
した。初めてのことで手探りの準備・開催となりましたが、参加さ
れている皆様の楽しんでいる表情を見てほっとしたところ
です。また、貴重なご意見も頂戴いたしました。今年度は昨年の経
験を活かして、更に喜んで頂ける会にしていきたいと思
います。

また、今年度も取り組んでいかなければならない課題がたく
さんあります。今出来る最善を速やかにやっていくことが、利用
者様、ご家族様の安心・安全・満足に繋がると感じています。平成
ニュータウンの美化活動などの地域貢献もういんぐの役割と捉
え、取り組んでいきます。そして、今年度も「L.C.C.ういんぐのフ
ァンが増える」という理想的な姿を目指し、ういんぐチーム一丸
となって頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



ワークセンターフレンド 管理者 松浦和志

平成28年度が始まり、フレンドは開所して10年が経ちました
が、就労系事業の宿命と言われている。就労支援、工賃向上に向
けて日々、奮闘しているところです。訓練事業のクリーニングは、
重労働であり、体力維持が難しい仕事ですが、利用者の皆様は、
その日の作業エリアで、時間いっぱい汗を掻きながらシーツ、タ
オル、浴衣等の納品物仕上げに黙々と取り組んでおられます。
そんな姿を毎日見ていると、「楽しい事、楽しむ場」をもっと充実
しなければと考えます。利用者の方々のニーズ、「就労したい」「
お金がもっとほしい」「温泉連れて行って」「旅行に行きたい」等
々、実現に向け、訓練事業、利用者自治会の充実を図り一緒に働
く皆様と共に今年度も頑張っていきます。



持田寮 施設長 江指裕嗣

持田寮は、開設から25回目の春を迎えました。四半世紀。この
間、利用者のみなさんもそれだけ年を重ねられ、最近では重度・高
齢化対策が最優先課題となっています。制度も大きく変わり、当
施設の事業も紆余曲折がありました。そうした経緯を経て、今、
持田寮が目指す理想的な姿は「利用者・職員の笑顔を増やし続
けていく施設」です。そのため、今年度の経営課題に「利用者ニ
ーズに応える行動を増やす」ということを掲げました。

ご本人の好きなことや得意なことに焦点を当て、リハビリや生
きがい活動を見直し、更にもう一歩進めたいと考えます。楽しか
ったという笑顔も。働き終えて充実した笑顔も。みなさんの様々
な笑顔を増やしていくことが出来ればと考えます。今年度も、み
なさんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



地域貢献推進チーム 長野純哉

千鳥福祉会の理念には、「ハンディキャップのある方の支援を
通して、やさしい地域ができることを信じて、多くの方と喜びを
共有できるよう努力します」という一文があります。
福祉の仕事をしている身としては、地域、社会と共存するとい
うことは切っても切れない大切なことに感じます。今、私たちが更
に地域の為に出来る事をと、この「地域貢献推進チーム」が発足
されました。

昨年度は、法人全体での清掃活動を中心に、各事業所でもそ
れぞれの活動を行ってまいりました。その中には、地域の方向けの講
演会、レクリエーション等、利用者の方と一緒に取り組むものも
あり、様々な出会いも生まれました。
今年度も同様に、地域と千鳥福祉会がお互いにとって素晴らしい
関係作りが出来るよう進んでいきたいと思
います。